

# 金城学院大学 広告研究会

## 活 動 実 績 調 書

(1) 活動の名称	瀬戸の広告物制作
(2) 活動の目的・成果 (※何を目指し、何が成果として得られたかについて記載)	
<p>【目的】大学生ならではの視点から新しい瀬戸の魅力を発見し、瀬戸をPRする広告を制作することを目指します。また、実際に制作した広告を金城学院大学内で掲載することで、若者にとって瀬戸が魅力のある町だとイメージ付けます。</p> <p>【効果】たくさんの学生に展示しているポスターの前で足を止めて観てもらうことができました。さらに、紹介したカフェに興味をもって、カフェまで足を運んでくれた学生もいました。これまで学生が知らなかった新しい瀬戸の魅力を発信することで、実際に瀬戸の町を訪れるきっかけづくりになったと思います。そして、瀬戸を訪れる若者の数を増やす効果が発揮できたと考えられます。</p>	
(3) 活動の実施内容 (※活動の実施方法、時期、場所、回数、市民等への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>《実施方法》瀬戸市内のフィールドワーク 瀬戸市のまるっとミュージアム課様にお話をききアドバイスを頂く、 分析・会議、広告物の制作</p> <p>《実施時期》フィールドワーク (2回程度実施) 7月～9月 フィールドワークの結果を分析、会議 9月～11月 広告物制作 11月～12月</p> <p>《実施場所》金城学院大学・尾張瀬戸駅周辺</p> <p>《実施回数》フィールドワーク2回程度、会議+制作10回程度</p> <p>《周知方法》瀬戸市内 (パルティ瀬戸等) での展示 金城学院大学構内での掲載 本大学ホームページでの掲載</p> <p>《参加予定人数》13名</p>	
(4) 活動実施上の工夫 (※活動の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫した点について記載)	
<p>実際にお店に訪れ、インタビューをすることで、そこで自分が経験したことやお店の雰囲気、様子から感じ取ったことを生かして、各カフェならではの特色や魅力的なポイントに着目したキャッチコピーをポスターに入れました。</p> <p>また、ポスターの他にも各カフェの最寄駅や道順などを掲載したリーフレットを配布すること 絵、よりお店まで足を運んでもらいやすくなるように工夫しました。</p>	
(5) 活動実施上の反省点 (※具体的な反省点等について記載)	
<p>グループごとに進捗に大きな差があり、すべてのポスターを完成させるのに手間取ってしまったことは反省点です。前もって製作開始から完成日までをより綿密に計画して実行するべきでした。</p> <p>若者の関心が高い題材としてはよいテーマだったので、次年度にはそれをより生かせるように、もっと計画性をもって土壇場で焦らないよう制作に臨みたいです。</p>	